

# 2012年藤沢市長選挙のまとめ

2012-3-24 藤沢市政を考える市民の会

## 1、選挙結果について

2月12日行われた藤沢市長選挙では、鈴木つねお氏が、現職の海老根靖典氏を破り当選しました。投票結果は次の通りです。

鈴木 つねお	51,876 票	
えびね 靖典	40,944 票	
三野 ゆみこ	22,320 票	投票率：35.08%

今回の鈴木つねお氏の勝利は、4年間の海老根市政の下で、かつては良識の町と言われた藤沢市が、数々の不祥事で、全国に有名になる中で、良識ある藤沢市政を取り戻そうと、多くの市民、各界の方々が立ち上がり、鈴木氏の当選を勝ちとったものです。

藤沢市民の良識の勝利といえるものです。

## 2、市長選勝利を実現するための「藤沢市政を考える市民の会」の取組の経過

<「藤沢市政を考える市民の会」結成まで>

- 09月01日 結成相談会の呼びかけ文発送
- 13日 第1回相談会
- 28日 第2回相談会 結成準備委員を決める
- 10月08日 第1回結成準備会
- 08日 当会のホームページ開設
- 13日 第2回結成準備会
- 23日 第3回結成準備会
- 27日 結成集会開催 藤沢市民会館第1展示ホール

<鈴木恒夫氏を共同候補として擁立するまで>

- 10月27日 藤沢市政を考える市民の会結成  
会則、役員を決定  
海老根市政を変えるために幅広い共同を訴えるアピール採択
- 11月04日 市役所前で市長選アピールチラシ配布
- 07日 第1次各会派要請行動（15会派）
- 14日 鈴木恒夫氏出馬表明
- 12月12日 第2次各会派一斉要請行動
- 16日 海老根靖典氏出馬表明
- 18日 第1回市長選懇談会

- 26日 第2回市長選懇談会  
市長選推薦候補者を鈴木恒夫氏に決定 政策的合意事項確認 自主支援を確認  
<鈴木氏を市長候補として当選させるまでの選挙戦>
- 12月30日 市民の会事務所開設
- 1月05日 三野ゆみ子氏出馬表明
- 12日 鈴木恒夫氏勝利に向け「市民の会決起集会」開催（藤沢労働会館）
- 13日～23日 鈴木候補宣伝チラシ配布 各駅頭にて1万枚
- 16日 市役所前チラシ配布（市職労三野氏推薦問題）
- 23日 鈴木候補押出 全戸配布カラーチラシ印刷手配（8万枚）  
同日、業者に全戸配布依頼
- 29日 カラー版チラシ全戸配布全面中止
- 2月02日 青年会議所主催立会討論会 質問状チラシ配布（市民会館）
- 5日 市長選告示日 鈴木 海老根 三野3氏立候補
- 5～12日 宣伝運動～駅頭ビラ、地域ビラ配布 演説会参加、HP活用作戦  
支持依頼行動～私信作戦、電話作戦、個別依頼行動
- 12日 投票・開票日 鈴木恒夫 当選 51,876票  
1万1000票の大差で海老根候補を破る
- 3月24日 藤沢市長選勝利報告&ご苦労会

### 3、藤沢市長選挙勝利の要因

本年2月に行われた藤沢市長選挙は、多くの藤沢市民の皆さんの力が結集され、見事、鈴木恒夫氏を当選させる事ができました。

今回の鈴木恒夫氏の勝利の要因は、次の3点にあるといえます。

#### ①、良識ある藤沢市民の力、世論が結集した勝利

4年間の海老根市長の下で、かつては良識の町と言われた藤沢市が、数々の不祥事で、全国に有名になる中で、良識ある藤沢市政を取り戻そうと、多くの市民、各界の方々が立ち上がり、鈴木氏の当選を勝ちとったものと言うことができます。

更に、鈴木恒夫氏が、自民党県会議員でありながら、藤沢のすべての良識を結集するために、昨年11月、自民党を離れ、超党派で市長選に望んだ事も勝利の大きな要因になりました。また、多くのマスコミ、ミニコミが市長選問題を取り上げ海老根市政の問題点を取り上げたことも、反海老根の世論を形成する上で大きな力になりました。

#### ②、超党派の幅広い力が結集された勝利

当会は、昨年10月27日、何としても海老根市政を変え、市民の声が市政に反映される、公正で良識ある藤沢市政を実現しようと「藤沢市政を考える市民の会」を結成し、市民サイドから市長選を取り組んで参りました。当初、当会も独自候補の擁立を考えましたが、

選挙に勝利するためには、幅広い協力共同が必要であるという立場から、議会各派、各界の皆様へ訴えました。そして、昨年12月26日、市長選に対する政策的合意と、お互いに鈴木恒夫氏を推薦候補として支援することを確認しあうことができました。その後、自民党から共産党まで藤沢市の政党・各会派が超党派にそれぞれ鈴木氏を応援するという反海老根の広範な包囲網が形成されたことも、勝利の大きな要因となりました。今回のような超党派の市長選は、藤沢に於いては初めてのことであり、歴史に残る市長選だったと言うことが出来ます。

### ③、市民の良識を結集できる政策的合意ができたこと

12月26日の市長選懇談会では、「当会」、「みんなを守る藤沢を創る会」「平和な民主藤沢市政を作るみんなの会」並びに前回、前々回の市長候補者等が参加し、鈴木恒夫氏を推薦候補とする事と合わせて下記のような政策的合意事項が確認されました。これは、多数の良識的な藤沢市民を鈴木恒夫氏支持に結集する上で、大きな力となりました。

#### <市長選にあたっての政策的合意事項>

##### 1、市民が主人公の市政

市長が突出する市政を改め、市民と手を取り合い、バランスの取れた住民参加の仕組みを作ります

##### 2、環境、防災問題について

東日本大震災をふまえ、生命と資産を守りつつ、可能な限り事前に災害に備える「藤沢災害対策モデル」を構築します。災害を「地震」「津波」「原子力や放射線」「その他の生活環境を脅かす事象」の4つに分けて対処します。原子力発電から再生可能エネルギーへの転換を促進します。

##### 3、地域経済の振興と若者対策

外部から資本を導入して行う「外発的発展」よりも市内で経済が廻る「内発的発展」を優先し、市民自らが産業振興・活性化を行える、施策と拠点作りを促進し、若者に働く機会を提供します。

##### 4、大型公共事業

市民との議論が不十分な市庁舎・市民会館等の建て替えや、大型公共事業を見直します。

##### 5、地域経営会議

地域経営会議を見直します。

##### 6、福祉問題

高齢者や障がいのある人・立場の弱い人々などへの施策を充実します。

##### 7、教育委員問題

市外から教育委員を招聘するなど公正でない教育委員を改め、市民や教育現場の意見に等しく耳を傾けます。

##### 8、合意に至らなかった政策並びに独自政策等の扱い

お互いにこれを尊重することとし、必要に応じて今後も協議することとします。

## 4、今回の市長選で果たした当会の役割

- ①、10月27日会結成後直ちにアピール発表し、市議会各派に共同を訴えたことは、各界に反海老根の市長選を共同して闘う機運を作り出す上で大きな力となりました。
- ②、12月26日、第2回懇談会で政策的合意、鈴木恒夫氏を市長候補に推薦する事を決めた事は、市民派が鈴木氏を先頭に超党派で市長選を闘う出発点になりました。
- ③、市民がカンパを募り、独自に事務所を構え、鈴木恒夫氏を全力で支援したことも、勝利を勝ち取る上で大きな力となりました。
- ④、1月12日の決起集会には、鈴木陣営からも代表が参加し、また鈴木氏を支援する政党各会代表、市民が集まり、反海老根・鈴木支援を確認しあったことは、個別に闘う選挙とはいえ、お互いの連帯感を高める上で大きな力となりました。
- ⑤、藤沢市職労の三野氏支持に対し1月16日、当会が市役所前で批判ビラを配布したことは、市職員に大きな影響を与える事が出来ました。
- ⑥、2月2日の藤沢青年会議所主催の立会討論会に対しても、コーディネーターの経歴詐称批判や海老根氏のマニフェスト批判を、HPや質問状、当日の市民会館前のビラ配布等で適切に反撃できたことは、海老根陣営に効果的なダメージを与える事になりました。
- ⑦、当会が作成した鈴木氏押し上げの8万枚のカラービラは、選挙法との関係で全戸配布直前、中止せざるを得なくなりましたが、鈴木必勝の意気込みを全会員に伝える上で大きな力となり、選挙本番での支持拡大に役立ちました。
- ⑧、当会独自の政策ビラ、鈴木氏の法定ビラ等の配布を、市内のJR、小田急全駅頭、主要な江ノ電駅頭で行い、市民に鈴木氏の支援を訴えました
- ⑨、当会が、ホームページを立ち上げ、都度、会の動き、選挙情勢、相手陣営の問題点を指摘したことも鈴木勝利を勝ち取る上で大きな力となりました。

## 5、「藤沢市政を考える市民の会」の今後の方針

- ①、会則を改定（会の目的の変更）し、今後も運動を続けたい。  
現行の会則は、「市長を推薦・擁立することを会の目的とする」となっており、鈴木氏の当選で、会の目的は達成された事になりますが、市長を擁立したからといって、このまま解散してしまえば会が選挙中訴えてきた事は、鈴木新市長にお任せするだけとなってしまいます。市民の声が市政に反映される市政を作ろうと訴えてきた私たちの公約を実現するためにも、次回全体会で会の会則を改定し、今後も会の継続を図ってゆくことにしたいと思います。
- ②、会員の再登録、新役員の選出を行い、会の組織を一新したい  
現在の会員は、現在の会則に基づいて、市長選勝利に向けて参加したものであり、会則を変えた場合、引き続き会に残るか止めるかは、本人の選択に任せられるべきものです。そこで、次回全体会議で会員の再登録を行い、再登録した会員で会を存続させてゆくことにしたいと思います。次回全体会議は 月 日に行い、会則の改定、新役員の選出、年会費等を審議したいと思います。